



2010・2・10

第133号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

青年のなかからも9条守ろうの声を

各地で新成人によびかけ

【宮城県・松島九条の会】 宮城県松島町の「松島九条の会」は1月10日、成人の日より1日早く行われた町の成人式の会場前で、「憲法9条を守ろう」という恒例のよびかけをおこないました。手作りの横断幕とのぼりをかかげ、ハンドマイクでよびかけながら、参加した新成人に「九条セット」を配布しました。「九条セット」は多くの会員が参加してつくったもので、「成人式おめでとう」のメッセージ、9条の条文が書かれたカードを入れたポケットティッシュ、「9条署名簿」の3点が入っています。寒さのなか、短時間で署名をしてもらうのは難しく、後でゆっくり見てもらい、署名を返送してもらおうと考え出しました。

【岡山県・高梁9条の会】 岡山県高梁市の高梁9条の会は1月10日、17人の会員が成人式の会場前で宣伝・署名活動をおこない、式に参加した288人の新成人に、「成人おめでとう、9条守って希望ある未来を共に」とよびかけた会のニュース200枚を配布しました。

「僕は平和主義者だから」と積極的に署

名に応じる青年、グループで署名する青年たち、付き添った母親にすすめられ署名する青年などもいて58人の署名が寄せられました。

【岐阜県・九条の会・とき】 岐阜県土岐市の「九条の会・とき」は成人の日の1月11日、成人式の会場前で、「憲法9条を守ろう」と恒例となっている宣伝・署名活動をおこないました。

この日は会員15人が参加して、軽トラックに手づくりの旗・横断幕をとりつけ、会員が交代でマイクで訴えながら、「9条を守ろう」などとプリントされたポケットティッシュを配りました。「戦争反対」などと言って快く署名する新成人もおり、110人以上の署名が寄せられました。

宮城、秋田の「首長の会」が交流

「憲法九条を守る秋田県市町村長の会」（よびかけ人、千田謙蔵・元横手市長）、宮城県の「憲法九条を守る首長の会」（会長、川井貞一・元白石市長）は1月27日、横手市で「新春交流会」を開き両県から8人の元首長が参加しました。

つどいでは、千田謙蔵元横手市長が「首

長は本来憲法が守ることが仕事。9条と25条を守ることが今、大事になっている。この会を広げていこう」とあいさつ。川井貞一元白石市長が、「東北、全国へと広げ、連携して憲法を守ろう」と応じました。

参加者らは、「戦争は絶対だめだ」「平和な社会を守ることは9条を守ること」などと意見を交換しあいました。

両県とも会にはメッセージや講師の要請などが多くよせられているといいます。参加者らは、2月20日の東北ブロック交流集会に参加することも申し合わせました。

文化行事も取り入れながら

【山梨県・女性9条の会】 「山梨女性9条の会」は1月23日、結成5周年のつどいをひらき、230人が参加しました。

ピアニストの崔善愛さんがショパンの「幻想即興曲」などを演奏し、ショパンは「戦争によるポーランドの悲劇を世界にとどろかせた作曲家です」と紹介しました。

同会よびかけ人9人による「軍隊のない国を」の朗読も行われ、志村貞子代表は、「今年『3人よれば9条の会』という運動を女性9条の会が各地で起こしていきましょう」とよびかけました。

【愛知県・東郷9条の会】 愛知県東郷町の「東郷9条の会」は1月24日、「音楽と講演のつどい」を開き、88人が参加しました。

親と子のみどりの森合唱団が合唱を披露し、森英樹・名古屋大学名誉教授が「政権交代でどうなる憲法9条」と題して講演し、新しい政権のもとでの改憲の動きに監視を緩めてはいけないと強調しました。

【岐阜県・長良九条の会】 岐阜県岐阜市

《自民党新綱領より抜粋》

政策の基本的考え方（1月24日）

（1）日本らしい日本の姿を示し、世界に貢献できる新憲法の制定を目指す

（2）日本の主権は自らの努力により護る。国際社会の現実に即した責務を果たすとともに、一国平和主義的観念論を排す

（3）自助自立する個人を尊重し、その条件を整えるとともに、共助・公助する仕組みを充実する

（4）自律と秩序ある市場経済を確立する

（5）地域社会と家族の絆・温かさを再生する

（6）政府はすべての人に公正な政策や条件づくりに努める（イ）法的秩序の維持（ロ）外交・安全保障（ハ）成長戦略と雇用対策（ニ）教育と科学技術・研究開発（ホ）環境保全（ヘ）社会保障等のセーフティネット

（7）将来の納税者の汗の結晶の使用選択権を奪わぬよう、財政の効率化と税制改正により財政を再建する

の松籟地区にある長良九条の会はこのほど「松籟のつどい」を開催し、約30人が参加しました。

ギター演奏の後、参加者全員で「長崎の鐘」を合唱し、朗読ボランティア2人が筒井茅乃著『娘よ、ここが長崎です』を朗読しました。

四国、北陸でもブロック交流集会

すでに開催された中国、近畿、近く開催される東北、関東につづき、新たに四国、北陸でもブロック別交流会開催にむけての話し合いが始まりました。